

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[解決策 1](#)

[解決策 2](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要



Cisco ICM/IPCC によって拡張されるデータベース 移行 ツール (EDMT) は ICM/IPCC アップグレード プロセスの間に ICM/IPCC データベースを移行するのに使用されるウィザード アプリケーションです。それは宛先 サーバでインストールすることができます (EDMT をその他の情報についてはインストールすることを参照して下さい)。より大きいデータベース サイズ データ 移送を完了するために必要な時間がデータベース サイズ (、移行するために時間がかかります) およびサーバハードウェア パフォーマンスレベルに直接の関係で変わります。

この資料は発生する問題を説明しますデータベース 移行のための EDTM を別の ICM バージョンの間で実行するとき。問題のためのソリューションか回避策はまた資料で説明されています。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- [EDMT インストール必要条件](#) 
- [EDMT の実行](#) 

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified ICM/Contact センター 企業およびホストされた 7.5 に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

EDMT を別の ICM バージョンの間でデータベースを移行するために実行することは エラーメッセージ受け取られます時。

解決策

この問題を解決するには、次のソリューションを使用します。

解決策 1

きちんとはたらくマップされたドライバとの EDMT バックアップ/復元のためにソース マシンの SQL サーバ サービス (MSSQLSERVER) は LocalSystem アカウントを使用するかわりに適切な権限の ICM domain/AD ユーザとしてログオンするために設定 される必要があります。同じ ICM domain/AD ソース マシンのローカルな システム管理者であることをユーザーのニーズ、バックアップにまたこと読み書き権限を共有します必要とします。宛先の マシンの代りに第 3 ボックスにバックアップする場合、宛先の マシンは同じように設定される必要があります。次に、例を示します。ドメイン ユーザとして SQL サーバ サービス ログインは、ドメイン ユーザ ローカルな システム管理者で、バックアップ共有に読み書き権限があります。

注上の要件は [ICM 7.5\(1\) のためのアップグレードガイド](#) のページで 133 述べられます [🔗](#)。 [詳細についてはこの資料を参照して下さい。](#)

解決策 2

もう一つの実行可能な回避策は手動でに (たとえば、SQL サーバによって) バックアップし、データベースを次に宛先の マシンで復元するあります。これをすれば、宛先の マシンのテクノロジ リフレッシュの代りにそれから EDMT 入会地 移行を実行できます。

問題

ICM データベースの復元はこのエラーと EDMT を実行するとき停止します:

解決策

ロガー データベースのプロシージャはこのエラーメッセージの原因である場合もあります。解決するために、既存のロガー データベースを削除し、EDMT を再度実行して下さい。

関連情報

- [アップグレードガイド Cisco Unified ICM/Contact センター 企業のための及びホストされる](#) [🔗](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)